本ペーパーの掲載情報は、ウェルココWebサイト掲載情報と一部内容が異なる場合があります。

健康経営総合コンサルティング

SOMPOヘルスサポート株式会社

業界トップシェア 富士経済『データヘルス計画・健康経営・PHR関連市場の現状と将来展望 2025』<2023年度実績>

https://www.sompo-hs.co.jp/kenko-keiei/

サービス分類・提供内容（選択式）		
体制・業務構築支援	産業保健体制構築支援	
	健康経営推進支援	○
	ストレスチェック制度対応支援	
	ハラスメント対策支援	
	過重労働対策支援	
	復職支援に係る体制・業務構築支援	
	人事・労務向けアドバイザリー	○
調査・分析支援（人的支援）		○
現状把握・分析システム	ストレスチェックシステム	
	パルスサーベイ・従業員意識調査	
	健康・労務データ統合分析システム	
組織づくり・職場環境改善	組織開発コンサルティング	○
	管理職向け研修	
	従業員向け研修	
管理職向け個別支援		
従業員支援	相談窓口・カウンセリング	
	セルフケア研修	
	セルフケア支援アプリ	
	復職支援	

サービス概要・特徴（500文字以内）

健康経営は、従業員の「心身の健康増進」を経営的視点から捉え、企業価値向上を目指す取組みです。その中でも、メンタルヘルスの推進は「心の健康づくり」という観点から、健康経営の推進において極めて重要な柱となります。本サービスは、心と身体の両面から従業員を支える健康経営の推進について、以下のサービスをご提供しています。

①調査票作成支援：健康経営優良法人認定、あるいはホワイト500ランクインを目的とした企業に対して、健康経営度調査票の作成を支援するコンサルティングサービス(内容には、ストレスチェックやセルフケア・ラインケアをはじめとした教育、職場環境改善などの心の健康づくりに関する内容も含まれます)
②データ分析：様々な健康データを分析し健康課題を可視化し、レポーティングするサービス
③健康経営総合コンサルティング：健康経営推進のために現状の課題を抽出し、具体的な対策のKPIを定め、実効性の高い健康経営体制の構築を支援するコンサルティングサービス

期待される効果		根拠の詳細		
【凡例*】◎:実証評価>○:導入企業の評価>●:理論的裏付け		導入企業の評価	理論的裏付け	実証評価
基盤整備	1. 法制度対応	○	●	–
	2. 制度・施策体系の整理	○	●	–
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	○	●	–
	4. 組織状況の把握	○	●	–
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上		●	
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上		●	
	7. プログラムへの参加率・利用率向上		●	
	8. 不調の早期発見・対応		●	◎
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	○	●	◎
	10. 仕事のストレス要因低減		●	◎
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上			◎
	12. 周囲のサポート力向上			
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善			
	14. 健康状態・心理指標改善			
	15. アブセンティーイズム改善			
	16. プレゼンティーイズム改善			
	17. ワーク・エンゲイジメント向上			
	18. 従業員エンゲージメント向上			
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）			

*ウェルココ上で掲載される際に複数の根拠がある場合は、凡例の優先順で表示されます。

導入企業の評価（500字以内）

導入企業からの評価
・私たちの支援サービスを利用した企業は100%認定を取得しています。

・ホワイト500認定企業の約17%、健康経営銘柄の約21%以上が当社のソリューションを活用。これまで分析、コンサルティングを導入した 企業のうち、72社がホワイト500に認定。
※令和６年度健康経営度調査実績

・年間214社の健康経営度調査票を分析。
健康経営導入・推進支援サービス業界 トップシェア
※富士経済『データヘルス計画・健康経営・PHR関連市場の現状と将来展望　2025』<2023年度実績> より

理論的裏付け（500字以内）

・理論的枠組みの名称
提唱者 理論的枠組み：経済産業省が主導する健康経営推進のための「健康経営度調査票」に準拠　提唱者：経済産業省

・理論的枠組みの活用方法
「健康経営度調査票」に基づく、健康経営優良法人認定支援、ホワイト500選定支援のためのアドバイス、コンサルティング

実証評価

学術介入の有無	エビデンスの水準
学術研究機関等が介在しない独自の効果検証	単純前後比較などの準実験的研究（介入研究）

（学術介入有りの場合）氏名・所属・専門、掲載文献・発表した学会・演目名（500字以内）

実証評価の結果概要（500字以内）

ホワイト500認定企業の約17%、健康経営銘柄の約21%以上が当社のソリューションを活用。これまで分析、コンサルティングを導入した 企業のうち、72社がホワイト500に認定。
※令和６年度健康経営度調査実績

健康経営総合コンサルティング　SOMPOヘルスサポート株式会社

様式3 導入企業の評価

該当する効果		
基盤整備	1. 法制度対応	○
	2. 制度・施策体系の整理	○
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	○
	4. 組織状況の把握	○
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上	
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上	
	7. プログラムへの参加率・利用率向上	
	8. 不調の早期発見・対応	
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	○
	10. 仕事のストレス要因低減	
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	
	12. 周囲のサポート力向上	
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善	
	14. 健康状態・心理指標改善	
	15. アブセンティーイズム改善	
	16. プレゼンティーイズム改善	
	17. ワーク・エンゲイジメント向上	
	18. 従業員エンゲージメント向上	
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）	

実施概要・結果

導入企業からの評価
・私たちの支援サービスを利用した企業は100%認定を取得しています。

・ホワイト500認定企業の約17%、健康経営銘柄の約21%以上が当社のソリューションを活用。これまで分析、コンサルティングを導入した 企業のうち、72社がホワイト500に認定。
※令和６年度健康経営度調査実績

・年間214社の健康経営度調査票を分析。
健康経営導入・推進支援サービス業界 トップシェア
※富士経済『データヘルス計画・健康経営・PHR関連市場の現状と将来展望　2025』<2023年度実績>より

成果・評価コメント　※「該当する効果」との対応がわかるよう（　）内に効果のNoを付記する

アンケートの対象及び回答社数：
実施時期、実施方法：2024年8月19日から同年10月18日、「健康経営度調査票」の記入・提出
主な設問内容：Q76「委託した結果、高評価だった事業者と低評価だった事業者それぞれ1社ずつ、痛くないようおよび評価理由をお答えください」

以下、記載コメントを抜粋して記載します。
・A社：ホワイト500取得企業含めた多くの企業のコンサルタント経験に裏打ちされた、企業側の実態も踏まえた現実的で明確なコンサルティングを実施いただいているため。
・B社：健康経営施策全般や本調査票についてもコンサルティングをしていただくなど、当社が期待する包括的なサポートを受けることができているため。
・C社：分析とコンサルティングを実施する人員を確保して、当社サポートのための人員体制をとって、支援してもらえる点がよかった。また企業同士の情報交換会も定期的に実施していただき、健康経営のいい学びの場となった。
・D社：当社の健康課題や解決したい課題、健康経営を推進することでどういったことを実現したいのかを共有し、課題解決に向けたヒントを提案してくれた。また、経営層の意識改革をする上でコンサルティングの立場からメッセージを発信してもらうなど、健康経営を推進する上での風土作りに寄与していただいた。
・E社：詳細な分析データの納品。メールでの質問対応の迅速さ。健康経営エキスパートアドバイザーによる支援

評価者情報				
個社ごとの評価結果を根拠とする場合	企業名①		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名②		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名③		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名④		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名⑤		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
複数社からのアンケート結果を根拠とする場合	アンケート対象及び回答社数	2024年8月19日から同年10月18日、「健康経営度調査票」の記入・提出をいただいた企業214社		
	実施時期・方法	2024年8月19日から同年10月18日		
	主な設問内容	主な設問内容：Q76「委託した結果、高評価だった事業者と低評価だった事業者それぞれ1社ずつ、痛くないようおよび評価理由をお答えください」		

健康経営総合コンサルティング　SOMPOヘルスサポート株式会社

様式4 理論的裏付け

該当する効果		
基盤整備	1. 法制度対応	○
	2. 制度・施策体系の整理	○
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	○
	4. 組織状況の把握	○
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上	○
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上	○
	7. プログラムへの参加率・利用率向上	○
	8. 不調の早期発見・対応	○
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	○
	10. 仕事のストレス要因低減	○
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	
	12. 周囲のサポート力向上	
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善	
	14. 健康状態・心理指標改善	
	15. アブセンティーイズム改善	
	16. プレゼンティーイズム改善	
	17. ワーク・エンゲイジメント向上	
	18. 従業員エンゲージメント向上	
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）	

採用する理論的枠組みの概要　※「該当する効果」との対応がわかるよう（　）内に効果のNoを付記する

理論的枠組み：経済産業省が主導する健康経営推進のための「健康経営度調査票」に準拠
提唱者：経済産業省

理論的枠組みの活用方法

「健康経営度調査票」に基づく、健康経営優良法人認定支援、ホワイト500選定支援のためのアドバイス、コンサルティング

健康経営総合コンサルティング　SOMPOヘルスサポート株式会社

様式5 実証評価

実証デザイン	介入・観察対象	対象企業の過年度「健康経営度調査票」
	介入・要因	「健康経営度調査票」の結果分析
	比較対象	弊社が関与した他社の「健康経営度調査票」データを集約した統計値、及び対象企業の過年度の「健康経営度調査票」データ
	アウトカム	コンサルティング後の「健康経営度調査票」の結果データ
	エビデンスの水準	単純前後比較などの準実験的研究（介入研究）
学術介入	学術介入の有無	学術研究機関等が介在しない独自の効果検証
	（学術介入有りの場合） 氏名・所属・専門、掲載文献・発表した学会・演目名	

該当する効果		
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上	
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上	
	7. プログラムへの参加率・利用率向上	
	8. 不調の早期発見・対応	○
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	○
	10. 仕事のストレス要因低減	○
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	○
	12. 周囲のサポート力向上	
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善	
	14. 健康状態・心理指標改善	
	15. アブセンティーイズム改善	
	16. プレゼンティーイズム改善	
	17. ワーク・エンゲイジメント向上	
	18. 従業員エンゲージメント向上	
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）	

実証結果

R6年度健康経営度評価実績：R6年度弊社関与214社
健康経営銘柄取得6社（うち3社が初認定）、W500取得72社、健康経営優良法人認定取得率100%の実績。（顧客報告ベース）